

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道497号 西九州自動車道 佐々世保道路
事業主体	九州地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	【事業全体】費用便益比(B/C) = 2.4 (経済的純現在価値(B-C) = 688億円、経済的内部収益率(EIRR) = 9.6%) 【残事業】費用便益比(B/C) = 3.9 (経済的純現在価値(B-C) = 889億円、経済的内部収益率(EIRR) = 19.8%)
	事業実施環境	■ ルート確定済	(都市計画決定: H9年4月、都市計画決定(変更): H18年1月)
		■ 円滑な事業執行の環境が整っている	(周辺の自治体などから積極的な整備促進がなされている、環境影響評価の時期: H9年4月)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	● 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	平行区間の年間渋滞損失時間(人・時間/年)及び削減率 並行区間等(当該区間)の渋滞損失時間: 52.2万人・時間/年(国道204号) 並行区間等(当該区間)の渋滞損失削減率: 約7割削減(国道204号)(現況52.2万人・時間/年→整備後17.0万人・時間/年)
		■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	現道となる主要地方道佐世保日野松浦線佐世保市小島町132小島町交番前で平日の混雑時旅行速度が19.7km/h(H17センサ)
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上以上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	現道となる一般国道204号は、佐世保市大塔方面や佐々町方面へ連絡するバス路線となっており走行性向上が期待される
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	特急停車駅である佐世保駅へのアクセス向上が期待される (佐世保駅、佐々町～佐世保駅、28分→13分)
		□ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
	物流効率化の支援	□ 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	佐々世保道路沿線は「とよのかいちご」の産地であり、流通の利便性向上が期待される (平戸市・旧田平町・江迎町・旧小佐々町・佐々町等、京阪神、京浜方面へ出荷)	
	□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する		

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input checked="" type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	幹線都市計画道路網密度の変化 (0.02km/km2⇒0.06km/km2)
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	主要な観光施設であるハウステンボスや西海パールシーリゾート等へのアクセス向上が期待される (観光施設：ハウステンボス、所要時間：佐々町～ハウステンボス 54分→34分、年間観光客入り込み数：約201万人)
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
	安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	三次救急医療施設である大村市の「国立病院機構長崎医療センター」へのアクセス時間短縮が見込まれる (国立病院機構長崎医療センター、佐々町～国立病院機構長崎センター 109分→88分)

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：2,500t/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 (推計結果) 評価対象区間（現道/平行区間等）：（一般国道204号） 排出削減量：40.7t/年、排出削減率：43%削減
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別：対象地域外 (推計結果) 評価対象区間（現道/平行区間等）：（一般国道204号） 排出削減量：3.4t/年、排出削減率：39%削減
		<input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	
		<input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道497号	佐々佐世保道路	9.0 km	高規格 B	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
31,100	4	九州地方整備局

① 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成18年度		
単純合計	518億円	91億円	609億円
うち残事業分	330億円	91億円	421億円
基準年における 現在価値 (C)	463億円	40億円	503億円
うち残事業分	263億円	40億円	302億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成18年度			
供用年	平成22年度			
単年便益 (初年便益)	29億円	7億円	3億円	39億円
基準年における 現在価値 (B)	948億円	158億円	85億円	1,191億円
うち残事業分	948億円	158億円	85億円	1,191億円

③ 結果

費用便益比 (事業全体)	2.4
費用便益比 (残事業)	3.9

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

交通状況の変化

事業名：佐々佐世保道路（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 [佐々佐世保道路] ：9.0km	交通量	[台/日]	0	28,800	
	走行時間	[分]	0	7	
	走行時間費用	[億円/年]	0	52	
②主な周辺道路	現道(国道 204号) ：12.0km	交通量	[台/日]	30,800	18,600
		走行時間	[分]	17	16
		走行時間費用	[億円/年]	140	78
	現道(国道 35号) ：0.6km	交通量	[台/日]	54,400	41,700
		走行時間	[分]	1	1
		走行時間費用	[億円/年]	15	11
	主) 佐世保日野松 浦線 ：10.4km	交通量	[台/日]	13,300	11,600
		走行時間	[分]	15	15
		走行時間費用	[億円/年]	55	47
	市) 相浦 循環線 ：4.4km	交通量	[台/日]	28,200	20,200
		走行時間	[分]	6	6
		走行時間費用	[億円/年]	48	34
	県) 佐世保鹿町線 ：6.7km	交通量	[台/日]	7,600	2,700
		走行時間	[分]	14	13
		走行時間費用	[億円/年]	27	10
③その他道路合計 ：4232.2km	走行時間費用	[億円/年]	7410	7394	

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：4275.3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	7694	7627	67

※ 四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

※ 1：交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

※ 2：走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3：走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4：主な周辺道路については、当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名：佐々佐世保道路（事業全体・残事業）



費用便益分析の条件

事業名：一般国道497号佐々佐世保道路

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成18年度	
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)	
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>	
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>	
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H11センサス)	
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>	
	有	<input type="checkbox"/>	
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の場合	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
その他()	<input type="checkbox"/>		
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmax~Qmin)以下の路線が混在した配分結果となっているため、費用便益分析においては速度差の生じる「加重平均速度」を用いた。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>	
	その他()	<input type="checkbox"/>	

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 佐々佐世保道路(事業全体)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	9	2.43

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-17年目	H 5	1.6651	1	2		
-16年目	H 6	1.6010	1	2		
-15年目	H 7	1.5395	1	2		
-14年目	H 8	1.4802	1	1		
-13年目	H 9	1.4233	2	3		
-12年目	H 10	1.3686	3	4		
-11年目	H 11	1.3159	4	5		
-10年目	H 12	1.2653	6	7		
-9年目	H 13	1.2167	20	25		
-8年目	H 14	1.1699	25	30		
-7年目	H 15	1.1249	16	18		
-6年目	H 16	1.0816	38	41		
-5年目	H 17	1.0400	27	28		
-4年目	H 18	1.0000	44	44		
-3年目	H 19	0.9615	61	58		
-2年目	H 20	0.9246	61	56		
-1年目	H 21	0.8890	61	54		
供用開始年次	H 22	0.8548	19	17	1	1
1年目	H 23	0.8219			2	2
2年目	H 24	0.7903			2	2
3年目	H 25	0.7599			2	2
4年目	H 26	0.7307			2	2
5年目	H 27	0.7026			2	2
6年目	H 28	0.6756			2	2
7年目	H 29	0.6496	32	21	2	2
8年目	H 30	0.6246	32	20	2	1
9年目	H 31	0.6006	32	19	2	1
10年目	H 32	0.5775	32	19	2	1
11年目	H 33	0.5553			2	1
12年目	H 34	0.5339			2	1
13年目	H 35	0.5134			2	1
14年目	H 36	0.4936			2	1
15年目	H 37	0.4746			2	1
16年目	H 38	0.4564			2	1
17年目	H 39	0.4388			2	1
18年目	H 40	0.4220			2	1
19年目	H 41	0.4057			2	1
20年目	H 42	0.3901			2	1
21年目	H 43	0.3751			2	1
22年目	H 44	0.3607			2	1
23年目	H 45	0.3468			2	1
24年目	H 46	0.3335			2	1
25年目	H 47	0.3207			2	1
26年目	H 48	0.3083			2	1
27年目	H 49	0.2965			2	1
28年目	H 50	0.2851			2	1
29年目	H 51	0.2741			2	1
30年目	H 52	0.2636			2	1
31年目	H 53	0.2534			2	1
32年目	H 54	0.2437			2	1
33年目	H 55	0.2343			2	1
34年目	H 56	0.2253			2	1
35年目	H 57	0.2166			2	1
36年目	H 58	0.2083			2	0
37年目	H 59	0.2003			2	0
38年目	H 60	0.1926			2	0
39年目	H 61	0.1852	-57	-11	2	0
合計			461	463	91	40
単純事業費計			518		91	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名: 佐々佐世保道路(残事業)

採用単価の根拠 一般国道(直轄)		
単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)
0.27	9	2.43

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-17年目	H 5	1.6651				
-16年目	H 6	1.6010				
-15年目	H 7	1.5395				
-14年目	H 8	1.4802				
-13年目	H 9	1.4233				
-12年目	H 10	1.3686				
-11年目	H 11	1.3159				
-10年目	H 12	1.2653				
-9年目	H 13	1.2167				
-8年目	H 14	1.1699				
-7年目	H 15	1.1249				
-6年目	H 16	1.0816				
-5年目	H 17	1.0400				
-4年目	H 18	1.0000				
-3年目	H 19	0.9615	61	58		
-2年目	H 20	0.9246	61	56		
-1年目	H 21	0.8890	61	54		
供用開始年次	H 22	0.8548	19	17	1	1
1年目	H 23	0.8219			2	2
2年目	H 24	0.7903			2	2
3年目	H 25	0.7599			2	2
4年目	H 26	0.7307			2	2
5年目	H 27	0.7026			2	2
6年目	H 28	0.6756			2	2
7年目	H 29	0.6496	32	21	2	2
8年目	H 30	0.6246	32	20	2	1
9年目	H 31	0.6006	32	19	2	1
10年目	H 32	0.5775	32	19	2	1
11年目	H 33	0.5553			2	1
12年目	H 34	0.5339			2	1
13年目	H 35	0.5134			2	1
14年目	H 36	0.4936			2	1
15年目	H 37	0.4746			2	1
16年目	H 38	0.4564			2	1
17年目	H 39	0.4388			2	1
18年目	H 40	0.4220			2	1
19年目	H 41	0.4057			2	1
20年目	H 42	0.3901			2	1
21年目	H 43	0.3751			2	1
22年目	H 44	0.3607			2	1
23年目	H 45	0.3468			2	1
24年目	H 46	0.3335			2	1
25年目	H 47	0.3207			2	1
26年目	H 48	0.3083			2	1
27年目	H 49	0.2965			2	1
28年目	H 50	0.2851			2	1
29年目	H 51	0.2741			2	1
30年目	H 52	0.2636			2	1
31年目	H 53	0.2534			2	1
32年目	H 54	0.2437			2	1
33年目	H 55	0.2343			2	1
34年目	H 56	0.2253			2	1
35年目	H 57	0.2166			2	1
36年目	H 58	0.2083			2	0
37年目	H 59	0.2003			2	0
38年目	H 60	0.1926			2	0
39年目	H 61	0.1852	-4	-1	2	0
合計			325	263	91	40
単純事業費計			330		91	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名: 佐々佐世保道路(事業全体)

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車種	貨物車種	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	15	4	7	4	29	25	3	0	3	1	7	6	3	3	39	33
1年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	20	5	9	5	39	32	3	0	3	1	8	6	4	3	51	42
2年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	20	5	9	5	39	31	3	0	3	1	8	6	4	3	51	40
3年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	21	5	9	5	39	30	3	0	3	1	8	6	4	3	51	39
4年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	21	5	9	5	39	29	3	0	3	1	8	6	4	3	51	38
5年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	21	5	9	5	40	28	3	0	3	1	8	6	4	3	52	36
6年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	21	5	9	5	40	27	3	0	3	1	8	5	4	3	52	35
7年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	21	5	9	5	40	26	3	0	3	1	8	5	4	3	52	34
8年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	21	6	9	5	40	25	3	0	3	1	8	5	4	3	52	33
9年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	21	6	9	5	40	24	3	0	3	1	8	5	4	3	52	32
10年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	22	6	9	5	40	23	3	0	3	1	8	5	4	2	53	30
11年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	36	10	14	8	67	37	4	1	4	2	10	6	6	3	83	46
12年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	36	10	14	8	67	36	4	1	4	2	10	5	6	3	83	44
13年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	36	10	14	8	67	35	4	1	4	2	10	5	6	3	83	43
14年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	36	10	14	8	67	33	4	1	4	2	10	5	6	3	83	41
15年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	36	10	14	8	67	32	4	1	4	2	10	5	6	3	83	39
16年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	36	10	14	8	67	31	4	1	4	2	10	5	6	3	83	38
17年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	36	10	14	8	67	30	4	1	4	2	10	4	6	2	83	36
18年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	36	10	14	8	67	28	4	1	4	2	10	4	6	2	83	35
19年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	36	10	14	8	67	27	4	1	4	2	10	4	6	2	83	34
20年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	36	10	14	7	67	26	4	1	4	2	10	4	6	2	83	32
21年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	36	10	13	7	67	25	4	1	4	2	10	4	6	2	83	31
22年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	36	10	13	7	67	24	4	1	4	2	10	4	6	2	82	30
23年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	36	10	13	7	66	23	4	1	4	2	10	3	5	2	82	28
24年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	36	10	13	7	66	22	4	1	4	2	10	3	5	2	82	27
25年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	36	10	13	7	66	21	4	1	4	2	10	3	5	2	81	26
26年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	35	10	13	7	66	20	4	1	4	2	10	3	5	2	81	25
27年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	35	10	13	7	65	19	4	1	4	2	10	3	5	2	81	24
28年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	35	10	13	7	65	19	4	1	3	2	10	3	5	2	80	23
29年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	35	10	13	7	65	18	4	1	3	2	10	3	5	1	80	22
30年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	35	10	13	7	65	17	4	1	3	2	10	3	5	1	80	21
31年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	35	10	13	7	64	16	4	1	3	2	10	2	5	1	79	20
32年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	35	10	13	7	64	16	4	1	3	2	10	2	5	1	79	19
33年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	35	10	13	7	64	15	4	1	3	2	10	2	5	1	79	18
34年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	35	10	13	7	64	14	4	1	3	2	10	2	5	1	79	18
35年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	34	10	13	7	64	14	4	1	3	2	10	2	5	1	78	17
36年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	34	10	13	7	63	13	4	1	3	2	10	2	5	1	78	16
37年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	34	9	13	7	63	13	4	1	3	2	10	2	5	1	78	16
38年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	34	9	13	7	63	12	4	1	3	2	9	2	5	1	78	15
39年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	34	9	13	7	63	12	4	1	3	2	9	2	5	1	77	14
合計						1,247	343	476	262	2,329	948	153	22	135	62	372	158	201	85	2,902	1,191

便益の現在価値算定表

箇所名: 佐々佐世保道路(残事業)

年次	年度 (基準年) H18	総走行台キロの年次別伸び率 (北九州ブロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車種	貨物車種	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	①計	現在価値 ①×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	②計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 22	1.00781	0.99865	1.00515	0.8548	15	4	7	4	29	25	3	0	3	1	7	6	3	3	39	33
1年目	H 23	1.00775	0.99865	1.00512	0.8219	20	5	9	5	39	32	3	0	3	1	8	6	4	3	51	42
2年目	H 24	1.00769	0.99865	1.00510	0.7903	20	5	9	5	39	31	3	0	3	1	8	6	4	3	51	40
3年目	H 25	1.00763	0.99865	1.00507	0.7599	21	5	9	5	39	30	3	0	3	1	8	6	4	3	51	39
4年目	H 26	1.00757	0.99865	1.00504	0.7307	21	5	9	5	39	29	3	0	3	1	8	6	4	3	51	38
5年目	H 27	1.00751	0.99865	1.00502	0.7026	21	5	9	5	40	28	3	0	3	1	8	6	4	3	52	36
6年目	H 28	1.00746	0.99864	1.00499	0.6756	21	5	9	5	40	27	3	0	3	1	8	5	4	3	52	35
7年目	H 29	1.00740	0.99864	1.00497	0.6496	21	5	9	5	40	26	3	0	3	1	8	5	4	3	52	34
8年目	H 30	1.00735	0.99864	1.00494	0.6246	21	6	9	5	40	25	3	0	3	1	8	5	4	3	52	33
9年目	H 31	1.00729	0.99864	1.00492	0.6006	21	6	9	5	40	24	3	0	3	1	8	5	4	3	52	32
10年目	H 32	1.00157	0.99595	1.00004	0.5775	22	6	9	5	40	23	3	0	3	1	8	5	4	2	53	30
11年目	H 33	1.00157	0.99594	1.00004	0.5553	36	10	14	8	67	37	4	1	4	2	10	6	6	3	83	46
12年目	H 34	1.00156	0.99592	1.00004	0.5339	36	10	14	8	67	36	4	1	4	2	10	5	6	3	83	44
13年目	H 35	1.00156	0.99590	1.00004	0.5134	36	10	14	8	67	35	4	1	4	2	10	5	6	3	83	43
14年目	H 36	1.00156	0.99589	1.00004	0.4936	36	10	14	8	67	33	4	1	4	2	10	5	6	3	83	41
15年目	H 37	1.00156	0.99587	1.00004	0.4746	36	10	14	8	67	32	4	1	4	2	10	5	6	3	83	39
16年目	H 38	1.00156	0.99585	1.00004	0.4564	36	10	14	8	67	31	4	1	4	2	10	5	6	3	83	38
17年目	H 39	1.00155	0.99584	1.00004	0.4388	36	10	14	8	67	30	4	1	4	2	10	4	6	2	83	36
18年目	H 40	1.00155	0.99582	1.00004	0.4220	36	10	14	8	67	28	4	1	4	2	10	4	6	2	83	35
19年目	H 41	1.00155	0.99580	1.00004	0.4057	36	10	14	8	67	27	4	1	4	2	10	4	6	2	83	34
20年目	H 42	0.99690	0.99472	0.99633	0.3901	36	10	14	7	67	26	4	1	4	2	10	4	6	2	83	32
21年目	H 43	0.99689	0.99469	0.99632	0.3751	36	10	13	7	67	25	4	1	4	2	10	4	6	2	83	31
22年目	H 44	0.99688	0.99467	0.99630	0.3607	36	10	13	7	67	24	4	1	4	2	10	4	6	2	82	30
23年目	H 45	0.99687	0.99464	0.99629	0.3468	36	10	13	7	66	23	4	1	4	2	10	3	5	2	82	28
24年目	H 46	0.99686	0.99461	0.99628	0.3335	36	10	13	7	66	22	4	1	4	2	10	3	5	2	82	27
25年目	H 47	0.99685	0.99458	0.99626	0.3207	36	10	13	7	66	21	4	1	4	2	10	3	5	2	81	26
26年目	H 48	0.99684	0.99455	0.99625	0.3083	35	10	13	7	66	20	4	1	4	2	10	3	5	2	81	25
27年目	H 49	0.99683	0.99452	0.99623	0.2965	35	10	13	7	65	19	4	1	4	2	10	3	5	2	81	24
28年目	H 50	0.99682	0.99449	0.99622	0.2851	35	10	13	7	65	19	4	1	3	2	10	3	5	2	80	23
29年目	H 51	0.99681	0.99446	0.99621	0.2741	35	10	13	7	65	18	4	1	3	2	10	3	5	1	80	22
30年目	H 52	0.99634	0.99695	0.99650	0.2636	35	10	13	7	65	17	4	1	3	2	10	3	5	1	80	21
31年目	H 53	0.99632	0.99695	0.99648	0.2534	35	10	13	7	64	16	4	1	3	2	10	2	5	1	79	20
32年目	H 54	0.99631	0.99694	0.99647	0.2437	35	10	13	7	64	16	4	1	3	2	10	2	5	1	79	19
33年目	H 55	0.99630	0.99693	0.99646	0.2343	35	10	13	7	64	15	4	1	3	2	10	2	5	1	79	18
34年目	H 56	0.99628	0.99692	0.99645	0.2253	35	10	13	7	64	14	4	1	3	2	10	2	5	1	79	18
35年目	H 57	0.99627	0.99691	0.99643	0.2166	34	10	13	7	64	14	4	1	3	2	10	2	5	1	78	17
36年目	H 58	0.99625	0.99690	0.99642	0.2083	34	10	13	7	63	13	4	1	3	2	10	2	5	1	78	16
37年目	H 59	0.99624	0.99689	0.99641	0.2003	34	9	13	7	63	13	4	1	3	2	10	2	5	1	78	16
38年目	H 60	0.99623	0.99688	0.99639	0.1926	34	9	13	7	63	12	4	1	3	2	9	2	5	1	78	15
39年目	H 61	0.99621	0.99687	0.99638	0.1852	34	9	13	7	63	12	4	1	3	2	9	2	5	1	77	14
合計						1,247	343	476	262	2,329	948	153	22	135	62	372	158	201	85	2,902	1,191